

(別添2)

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 保育所

第三者評価の判断基準

事業所名（施設名）木曾町立開田保育園

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【保育所】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

| 評価対象 | 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価着眼点 | コメント |
|------|--------|-------------|---|--|--|
| A | 1 保育内容 | (1) 保育課程の編成 | ① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。 | a) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 保育課程は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。 ■ 2 保育課程は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。 ■ 3 保育課程は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。 ■ 4 保育課程は、保育に関わる職員が参画して編成している。 ■ 5 保育課程は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。 | ○新保育所保育指針、児童憲章、児童の権利に関する条約等の趣旨を踏まえて、保育所理念、保育の方針、保育目標を作成しています。保育課程は、理念、保育方針、保育目標、子どもの発達過程、子どもの家庭の状況や保育時間、地域の実態を考慮して編成しています。年度末に職員が評価を行い次年度の保育課程に生かされています。 |

| 評価対象 | 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価着 | 着眼点 | コメント | |
|------|------|-------------------------------------|--|-----|-------------------------------------|---|---|
| A | | (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開 | ① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。 | b) | <input type="checkbox"/> | 6 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を、常に適切な状態に保持している。 | ○保育園内外の遊具、設備、用具、玩具等の安全点検は定期的に実施しています。玩具、寝具等は定期的に消毒、洗濯等して衛生管理をしています。子どもたちの遊びの広がりにより、保育士間で検討して保育室や広い廊下のスペースの空間を工夫して家具や遊具を設置しています。子どもがくつろいで遊んだり、絵本等を読んだり落ち着ける場所となっています。 ○トイレは明るく清潔で利用しやすい設備であり、年少児のトイレは、保育室に隣接して保育士の目が届き、子どもたちは安心して排せつ、着衣をしています。 ○温度、湿度などの計測により冷暖房機の設置に関して検討し、生活環境を適正化する取組みに期待します。 |
| | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 7 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。 | |
| | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 8 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。 | |
| | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 9 内装等には、木材を利用している。 | |
| | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 10 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。 | |
| | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 11 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。 | |
| | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。 | |
| | | | | a) | <input checked="" type="checkbox"/> | 13 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。 | |
| | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 14 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。 | |
| | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 15 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。 | |
| | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 16 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。 | |
| | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 17 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。 | |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 18 せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。 | | | | |

| 評価対象 | 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価着 | 眼 | 点 | コメント | |
|------|------|---------------------------|---|-----|----|--|---|---|
| A | | | ③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。 | a) | ■ | 19 | 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。 | ○手洗い、歯磨き、食事方法等の生活習慣を身につける大切さを説明し、一人ひとりに合わせて、できるよう働きかけをしています。洗面台の横に手拭き、歯磨きセット、水筒を置き、子どもが手洗い、うがい、歯磨き等がやりやすい動線を工夫して作っています。ホワイトボード、マグネットを利用して生活時間帯を子ども自身が掲示する、給食の配膳位置などを図解して掲示するなどして、生活習慣を身につけるための工夫や配慮をしています。更衣、排せつなどは、自分でやろうとしている姿を見守り、必要な時に声をかける等の働きかけをしています。 |
| | | | | ■ | 20 | 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。 | | |
| | | | | ■ | 21 | 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。 | | |
| | | | | ■ | 22 | 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。 | | |
| | | | | ■ | 23 | 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。 | | |
| | | | ④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。 | a) | ■ | 24 | 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。 | ○農機具に興味を持った子どもの気持ちを大切に、一輪車遊びに取組み、運動会競技に発展し、その後も子どもたちは一輪車遊びを継続しています。長靴履きで一輪車を押して砂山にかけ登る、水たまりに入る子どもたちのたくましい姿が見られました。園庭に小川を作り、実を付ける木々を植栽し、四季を通して遊びが展開できる環境が作られています。園庭で、ルールのある遊び、室内では子どもたちが協力しておみこし作りをする等しています。牧場に出掛け畑作りに興味を持ち、苗を農協で購入して畑作りをしています。子どもたちが製作したおみこしを担いで地域の祭りに参加、高齢者施設での交流等、地域の方と接し、社会体験をしています。 |
| | | | | ■ | 25 | 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。 | | |
| | | | | ■ | 26 | 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。 | | |
| | | | | ■ | 27 | 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。 | | |
| | | | | ■ | 28 | 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。 | | |
| | | | | ■ | 29 | 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。 | | |
| | | | | ■ | 30 | 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。 | | |
| | | | | ■ | 31 | 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。 | | |
| | | | | ■ | 32 | 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。 | | |
| ■ | 33 | 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。 | | | | | | |

| 評価対象 | 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価着 | 眼 | 点 | コメント | |
|------|------|------|---|-----|---|----|--|---|
| A | | | ⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a) | ■ | 34 | 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。 | ○遊びコーナー、休息の出来る空間が別々に用意され生活と遊びができる工夫・配慮をしています。保育士は、子どもの動きに合わせ見守りながら信頼関係を作り、安心して過ごせる配慮をしています。発達に応じた遊具などが用意され、興味や関心を持って遊んでいます。 |
| | | | | | ■ | 35 | 0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係（情緒の安定）が持てるよう配慮している。 | |
| | | | | | ■ | 36 | 子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。 | |
| | | | | | ■ | 37 | 0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。 | |
| | | | | | ■ | 38 | 0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。 | |
| | | | | | ■ | 39 | 0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。 | |
| | | | | | ■ | 40 | 一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。 | |
| | | | ■ | 41 | 探索活動が十分に行えるような環境を整備している。 | | | |
| | | | ■ | 42 | 子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。 | | | |
| | | | ■ | 43 | 子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。 | | | |
| | | | ■ | 44 | 保育士等が、友だちとの関わりの仲立ちをしている。 | | | |
| | | | ■ | 45 | 様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。 | | | |
| | | | ■ | 46 | 一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。 | | | |

| 評価対象 | 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価着 | 眼 | 点 | コメント |
|------|------|--|------|---|----|--|--|
| A | | ⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a) | ■ | 47 | 3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 | ○保育室内の生活習慣を身につけるための掲示物、子どもたちが遊びの中で制作した絵画、工作等の作品展示物、畑で育てた大豆や草ぼうき、散歩で採取した植物などを一緒にテラスに干してあり、子どもの発達段階に基づき、年齢に応じた保育計画により保育が展開されている様子が伺えます。やま保育を通して、子どもたちが自然の中で様々な体験をして、一人ひとりの子供が安定しながら興味・関心のある活動に取り組めるよう保育士は援助しています。子どもの声を大切にして、集団の中で自分を発揮し、友だちと楽しみながら協働して取り組める環境を保育士が検討しながら具体的に整えています。 ○小学校や高齢者施設、地域の祭り等に出向き、協同して取り組んできたことを発表しています。 |
| | | | | ■ | 48 | 4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 | |
| | | | | ■ | 49 | 5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 | |
| | | | | ■ | 50 | 子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。 | |
| | | | b) | ■ | 51 | 建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。 | |
| | | | | ■ | 52 | 障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。 | |
| | | | | ■ | 53 | 計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。 | |
| | | | | ■ | 54 | 子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。 | |
| | | ■ | 55 | 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 | | | |
| | | ■ | 56 | 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 | | | |
| | | ■ | 57 | 職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。 | | | |
| | | ■ | 58 | 保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。 | | | |

| 評価対象 | 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価着 | 着眼点 | コメント | |
|------|------|------|---|------|---|---|---|
| A | | | ⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a) | ■ 59 | 1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。 | ○長時間保育の子どもが半数を超える状況の中で、1日の生活を見通した保育となるよう努めています。17時以降に希望する子どもはおやつを食べています。 ○担任から保護者に連絡がある場合は、長時間保育担当保育士と連携して担任が直接保護者に伝えるよう配慮しています。長時間保育に関する記録簿があり職員が把握しています。 |
| | | | | ■ 60 | 家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。 | | |
| | | | | ■ 61 | 子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。 | | |
| | | | | ■ 62 | 年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。 | | |
| | | | | ■ 63 | 保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。 | | |
| | | | | ■ 64 | 子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。 | | |
| | | | | ■ 65 | 担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。 | | |
| | | | ⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。 | a) | ■ 66 | 計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。 | ○就学前関係年間計画に沿って就学前保育が計画的に行われています。隣接の小学校と1・2年生の野外活動、音楽会、運動会、4年生の読み聞かせ等の交流事業が計画され小学校への訪問、児童と交流しています。 ○保護者同伴で参加する小学校行事、就学時健診、入学説明会があり就学を見通した計画があります。 ○小学校、保育園関係職員の会議、交流事業があり連携を図る取組みをしています。 |
| | | | | ■ 67 | 子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。 | | |
| | | | | ■ 68 | 保護者が、小学校以降の子どもたちの生活について見通しを持てる機会が設けられている。 | | |
| | | | | ■ 69 | 保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。 | | |
| | | | | ■ 70 | 施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。 | | |

| 評価対象 | 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価着 | 着眼点 | コメント | | |
|------|------|----------|---------------------------|-----|--|------|--|---|
| A | | (3) 健康管理 | ① 子どもの健康管理を適切に行っている。 | b) | ■ | 71 | 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。 | ○子どもの健康に関するマニュアルに添って子どもの健康管理が行われています。保健年間計画は季節毎に健康目標を作り子ども保護者に具体的に健康な生活について啓蒙をしています。子どもの体調変化・けがなどについては保護者に伝えて連絡を取り合っています。保護者に入園説明会、保護者会、園だより等で子どもの健康に関する方針や取組み等を伝えています。 ○健康管理に関するマニュアル等及び、既往歴、予防接種等の記入様式の見直しが望まれます。 ○未満児の睡眠中の確認を15分毎に実施記録していますが、さらにSIDSに関するチェック表のマニュアル化とそれに基づく実施、保護者への周知（入園前の説明、ポスター掲示等）が望まれます。 |
| | | | | | ■ | 72 | 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。 | |
| | | | | | ■ | 73 | 子どもの保健に関する計画を作成している。 | |
| | | | | | ■ | 74 | 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。 | |
| | | | | | □ | 75 | 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。 | |
| | | | | | ■ | 76 | 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。 | |
| | | | | | □ | 77 | 職員に乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。 | |
| | | | | | □ | 78 | 保護者に対し、乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する必要な情報提供をしている。 | |
| | | | ② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。 | b) | ■ | 79 | 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。 | ○健康診断、歯科検診の結果を関係職員は周知し、検診結果を保護者に報告していません。眼科の治療を必要とする子どもの治療結果を保育園に報告されています。 ○歯科についても、検診結果、治療等の状況を踏まえ保育に反映される取組みが期待されます。 |
| | | | | | ■ | 80 | 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。 | |
| ■ | 81 | | | | 家庭での生活に生かされ保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。 | | | |

| 評価対象 | 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価着 | 点 | コメント | | |
|------|------|--|--------------------------|-----|----|---|---|--|
| A | | ③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。 | b) | ■ | 82 | アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。 | ○アレルギー疾患の子どもに対して「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」に沿って取り組んでいます。職員は慢性疾患、アレルギー疾患等について理解を得るための研修を行っています。医師から子どもの食事に配慮が必要な指示書が出された時は、食材、調理形態等に配慮して食事提供をしています。 ○保護者に対して園だより、保護者会等でアレルギー疾患、慢性疾患について理解を得るための取組みが期待されます。 | |
| | | | | ■ | 83 | 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。 | | |
| | | | | ■ | 84 | 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 | | |
| | | | | ■ | 85 | 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。 | | |
| | | | | ■ | 86 | 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。 | | |
| | | | | □ | 87 | 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。 | | |
| | | (4) 食事 | ① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。 | a) | ■ | 88 | 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。 | ○郷土食を含め、食を豊かにする経験ができるよう、食育計画に位置付けて計画的に取り組んでいます。 ○地場産の汁椀を子どもの年齢に応じて大きさを変えています。保育室の落ち着いた雰囲気の中で保育士と会話をしながら食事を楽しんでいます。お代りができることを喜んで食事をする子どもたちの姿が見られます。 ○廊下や階段から調理の様子が見える環境、子どもたちが作った味噌、育てた野菜や農家の方からの差し入の野菜が給食に調理されていることが理解できるよう、献立を絵や写真入りパネルを当番の子どもが紹介する等、食に興味を持てる工夫をしています。 ○給食を展示、食育だよりの発行をして家庭と連携を図っています。 |
| | | | | | ■ | 89 | 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。 | |
| | | | | | ■ | 90 | 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。 | |
| | | | | | ■ | 91 | 食器の材質や形などに配慮している。 | |
| | | | | | ■ | 92 | 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。 | |
| | | | | | ■ | 93 | 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。 | |
| | | | | | ■ | 94 | 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。 | |
| | | | | | ■ | 95 | 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。 | |

| 評価対象 | 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価着 | 着眼点 | コメント | | | | | | |
|------|------|------|-----------------------------------|-----|----------------|---|--|---------------------------------|----|-------|---------------------------------------|---|
| A | | | ② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。 | a) | ■ 96 | 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。 | ○一人ひとりの発育や体調を考慮した献立、調理形態を変える等しています。牛乳を温める等して配慮をしています。調理員は食に関する話をしながら、一緒に食事をする機会を設けています。味噌、ほう菜巻、すんき漬等を子どもたちと一緒に作り給食に提供し、畑の野菜や、農家の方の野菜を随時調理して季節感のある食事になっています。地域の食文化、行事食を取入れています。 ○衛生管理マニュアルにもとづいて衛生管理が適切に行われています。 | | | | | |
| | | | | | ■ 97 | 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。 | | | | | | |
| | | | | | ■ 98 | 食事の内容は、県産の農畜産物等を利用したものとしている。 | | | | | | |
| | | | | | ■ 99 | 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。 | | | | | | |
| | | | | | ■ 100 | 季節感のある献立となるよう配慮している。 | | | | | | |
| | | | | | ■ 101 | 地域の食文化や行事食などを取り入れている。 | | | | | | |
| | | | | | ■ 102 | 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。 | | | | | | |
| | | | | | ■ 103 | 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。 | | | | | | |
| | | | | | 2 子育て 支援 | (1) 家庭との 緊密な連 携 | | ① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。 | a) | ■ 104 | 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。 | ○子どもの生活を充実させるために登降園時、連絡帳により家庭と情報交換を行っています。保育のねらい、保育実践の様子を伝える便りの発行をしています。保育参観、クラス懇談会、保育参加、行事等への参加を通して保護者の理解を得、子どもの成長を共有する機会を設けています。 ○「開田めぐり隊」のお便りは、子どもの園外での体験を写真、手書きの図やコメントで読みやすく書かれており、保育内容が家庭にわかりやすく伝えられています。 |
| | | | | | | | | | | ■ 105 | 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。 | |
| | | | | | | | | | | ■ 106 | 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。 | |
| | | | | | | | | | | ■ 107 | 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。 | |

| 評価対象 | 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価着 | 着眼点 | コメント | |
|------|------|-------------|---|-------|---|--|---|
| A | | (2) 保護者等の支援 | ① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。 | b) | ■ 108 | 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。 | ○日頃から保護者とのコミュニケーションをとり信頼関係を築くよう努めています。保護者からの相談に組織的に対応するようマニュアルを整備し、担当保育士は主任・園長から助言を受けています。必要に応じて関係機関からの助言が受けられる体制になっています。 ○保育園と保護者の情報交換、相談内容について、関係職員で共有する内容など、記録用紙を策定し保護者支援に取り組むことが望まれます。 |
| | | | | ■ 109 | 保護者等からの相談に応じる体制がある。 | | |
| | | | | ■ 110 | 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。 | | |
| | | | | ■ 111 | 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。 | | |
| | | | | □ 112 | 相談内容を適切に記録している。 | | |
| | | | | ■ 113 | 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。 | | |
| | | | | a) | ■ 114 | 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。 | |
| | | ■ 115 | 虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。 | | | | |
| | | ■ 116 | 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。 | | | | |
| | | ■ 117 | 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。 | | | | |
| | | ■ 118 | 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。 | | | | |
| | | ■ 119 | 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。 | | | | |
| | | ■ 120 | マニュアルにもとづく職員研修を実施している。 | | | | |

| 評価対象 | 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価 | 着眼点 | コメント | |
|------|--------------|--------------------------|---|----|-------|--|--|
| A | 3 保育の質の向上 | (1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価） | ① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 | b) | ■ 121 | 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り（自己評価）を行っている。 | ○保育士は定期的に保育実践の振り返りを行っています。子どもの育ち、活動の様子、保育者自身の関りを評価しています。担任会で自己評価を定期的に行いお互いに学び合い、保育の質の向上に向けた取組みとなるよう検討しています。 ○保育士等が行った振り返りを保育園全体の保育実践の評価につなげ、組織的、継続的に保育の専門性、質の向上に向けた取組みになるよう期待します。 |
| | | | | | ■ 122 | 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。 | |
| | | | | | ■ 123 | 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。 | |
| | | | | | ■ 124 | 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。 | |
| | | | | | ■ 125 | 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。 | |
| | | | | | □ 126 | 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。 | |